

市政ニコニコス

ふるさと納税「コウノトリ豊岡 寄付金」

皆さん、豊岡を応援してください

市では、「ふるさと納税制度」の導入を受け、「コウノトリ野生復帰を核とした「人と自然が共生するまちづくり」に向けて取り組むさまざまな事業に支援をいただくため、「コウノトリ豊岡 寄付金」を設けました。

皆さんからいただいた「寄付金」は、「豊岡市コウノトリ基金」に積み立て、「コウノトリも住める豊かな環境づくりやコウノトリの生息地の保全

などの取組みに年次的に活用します。

寄付金は、1件5,000円から受け付けます。

なお、寄付金のうち5,000円を超える部分については、所得割額のおおむね1割を限度として、所得税・住民税から控除される「税額控除方式」が導入され、これまでよりも税額の軽減が大きくなりました。

《問合せ》政策調整課

広域ごみ・汚泥処理施設の候補地が決定

新施設の建設に向け計画推進

4月23日、北但行政事務組合（豊岡市・香美町・新温泉町で構成）候補地選定委員会が市立図書館本館で開催され、竹野町森本・坊岡区が広域ごみ・汚泥処理施設の候補地として選定されました。

同日、この選定結果を受け、同組合の正副管理者会が開かれ、正式に森本・坊岡区を候補地として決定しました。今回の候補地選定委員会で

は、3候補地（森本・坊岡区、小河口・八代区、口小野・袴狭区）について協議した結果、区としての理解度が3候補地の中で最も高く、収集運搬効率が最も優れていることから、森本・坊岡区が広域ごみ・汚泥処理施設の候補地として選定されました。今後、同組合では新たな施設の建設に向け、計画を進めていく予定です。

ラムサール条約登録湿地を増やす議員の会視察来訪 湿地の保全・再生に取り組み豊岡をアピール

5月10日と11日、超党派の国会議員で構成する「ラムサール条約登録湿地を増やす議員の会」のメンバーが豊岡の現状を視察に訪れました。ラムサール条約とは、1971年にイランのラムサールで採択された湿地に関する国際条約で、重要な生態系としての湿地を保全・再生していくことを主な目的としています。

同会は初日、県立コウノトリの郷公園や（仮称）八チゴロウの戸島湿地を見学後、中貝市長と意見交換。2日目は、自然再生工事を施した円山川の中州・ひのそ島や、ヒナ2羽が成長を続ける百合地の人工



あぐら環境とふれあふ元々の方々の川口地域

4月から新しく森本診療所長に就任

中島 紘 初めまして！

初めまして！このたび、竹野南へやって参りました中島です。私は「自分の健康は自分で守る」地域医療は地域が守る」が基本であって、それを手助けし支えていくのが医師の役割だと考えています。

そして、住民、行政、医療福祉介護関係の皆さんと一緒に、なって地域の医療を充実させ



中島 紘
森本診療所長

主な市政の動き

- 【4月】
- 21日・市民と市長の座談会（福住地区公民館）
- 22日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（じばさん但馬）
- 24日・市民と市長の座談会（小坂地区公民館）
- 25日・市民と市長の座談会（宮内センター）
- 26日・市民と市長の座談会（菅谷地区公民館・寺坂集落センター）
- 27日・市民と市長の座談会（弘道地区公民館）
- 【5月】
- 1日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（竹野総合支所）
- 7日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（出石総合支所）
- 8日・市民と市長の座談会（竹野南地区公民館）
- 9日・市民と市長の座談会（中竹野地区公民館）
- 10日・高橋地区公民館竣工式（竹野地区公民館）
- 11日・水道まつり
- 12日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（城崎総合支所）
- 14日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（日高文化体育館）
- 15日・都市計画税のあり方の見直し市民説明会（但東総合支所）

コウノトリ共生農業推進協議会が設立 市内における環境創造型農業を推進し有機農業モデルタウンに

5月12日、コウノトリの野生復帰に向けた取組みの一つとして推進してきた「環境創造型農業」をさらに推進するため「コウノトリ共生農業推進協議会」を設立しました。

これは、平成18年12月に制定された「有機農業に関する法律」を受けた国の新規事業である「有機農業総合支援対策事業」に取り組むための受け皿として設置したものです。市は、この支援対策事業6

つの事業)の一つである「地域有機農業推進事業(オーガニックモデルタウン)」に応募し、4月8日に国の採択を受けました(全国では、45の団体・協議会などが内定)。

今後は、同協議会を核として、5年間で「有機農業を行う農家を約30%増加」「コウノトリの舞ブランド農産物認定面積を約30%増加」させることなどを目標に、豊岡型の環境創造型農業をさらに推進し、

この取組みを全国へ発信していきたいと考えています。



総会であいさつをする中貝市長

JTBクリーンアップツアーが開催されました コウノトリも住める環境づくりへの支援に感謝

大手旅行代理店JTBが主催する「清掃ボランティアツアーin豊岡」が、4月8日、15日、22日の3回にわたって行われました。

日帰りバスツアーには、京阪神から総勢318人もの方々が参加。コウノトリ野生復帰支援の思いを込め、城崎地域で整備を進めている(仮称)八千ゴロウの戸島湿地周辺の円山川河川敷を清掃いただき、作業終了後は、城崎温泉

や県立コウノトリの郷公園もお楽しみいただきました。収集されたゴミは、可燃物・不燃物合わせて約940キロ！加えて、参加者の皆さんからコウノトリ基金に多額の寄付をいただきました。

参加者の皆さん、JTB西日本、清掃作業をお手伝いいただいた地元NPOや城崎係留組合、河川の治水工事会社の方々、ツアーを支えていただいた城崎温泉関係者の皆さんに心から感謝します。参加者の皆さん、ぜひ、また豊岡にお越しください。



円山川河川敷を清掃する参加者たち

中貝市長の徒然日記 ⑨

豊かさってなんだろう

春は命が一齐に吹き出す季節です。コゴミやタラの芽、ワラビやゼンマイ。周りの野山から「勝手」に生えてきて、食卓をにぎわします。タケノコは1年おきに、イノシシも飽きるほど大量に出できます。そして「物々交換」が始まります。友人が持ってきたワカメと引き換えにタケノコを手渡し、別の友人宅へ引き取られていった裏庭のフキは、甘辛く炊かれて再びわが家へ。同じような光景が町のあちこちで繰り返されます。

人々の間でやりとりされているのは、もちろん山菜ですが、それだけではなく、春が来た喜び、感謝、友情、その他もろもろの情でもあります。お金を儲けるわけでもなく、GDPには一切反映されませんが、互いの結びつきは強まり、しかも自然の恵みを大いに楽しむことができます。豊かさって何だろう？毎年春になると思うのです。但東の友人からシルクコー

ンをもらったことがあります。「そのまま生で食べてみ？」口に入れると、その甘いこと、甘いこと。ただたくしく私が作るトウモロコシだって、朝採りたてをゆでると、驚くほどの甘さです。市場ルートで遠くまで運ぶと、その間に味は落ちてしまいます。こんなこともありました。ある夏の日のこと。村のバス停に年配の女性が立っていました。やがてバスが来て止まり、ドアが開きました。女性は運転席の横のドアから中をのぞき込み、大きな声で話しかけました。「今日は乗りやあしません。それよりキュウリ、食べならんかな？よおけてきて、誰も食べんもんで」ああ？おおきに、もらいますっ」

